

Every extension of knowledge arises from making the conscious the unconscious.

Library News

Our business in this world is not to succeed, but to continue to fail in good spirits.

Library News

Library News files
What is done can't be undone.

contents

目次

特集

貴重本紹介

貴重本紹介シリーズ 10

「江戸時代の尾張の国」

「輯製20万分の1図」幕末・明治日本 国勢地図

学生に地図に関する話しをするとき、「地図は地表を見るタイムマシン」という話しをする。私の研究室にも、主に愛知・岐阜両県の戦前から戦後にかけての「5万分の1地形図」が何十枚もあるが、これらはかつて本学の短大で教授をされていた科野孝蔵先生から「君なら地図の貴重さが分かるから」というお言葉を拝しながら頂いたものである。これはとても貴重で、大切に保管すると同時に、ときどき研究や講義でも利用している。明治の中ごろから陸軍の陸地測量部によって作成が開始された5万分の1地形図は精度も高く、今日の同位置の紙面（図幅という）と見比べると、実にいろいろな地表上の変化を知ることができ、過去の姿を思い描くことができる。その意味で、地図には精度の高さと統一された表現方法が必要である。

すべて詳細に目を通していないが、「江戸時代の尾張の国」は13軸の、幅50cmくらいの巻物からなる絵図である。しかも主な記入が地名と川の絵くらいであるから、利用する上ではかなり限られた目的でしか扱えない。これに比べると、「輯製（しゅうせい）20万分の1図」の利用価値は高い。今日市販されている道路地図の縮尺が大体10万分の1であるので、精度もこれに近いとみてよい。また北海道から沖縄までの約159枚の図幅が1冊にまとめられた復刻本であるので、大きさもあるが重さもある。いずれにしても、これは明治政府が当時できる限り詳細な日本地図を早急に作成したいという意図のもと、幕末につくられた「伊能図」や各府県庁作成の地図などを資料として編纂されたもので、日本最初の近代的地図である。完成は明治26（1893）年であるので、かなり高い精度で110年ほど前の日本の地表の姿を知ることができる。関心のある方は、どこか場所を定めて一度見開いてみられるとよい。

随想

2

短期大学部教授 植田 克己

国内外の図書館

3

経営学部准教授 李 彩華

読書ガイド

4

法学部准教授 後藤 典文

経済学部教授 石田 隆造

経営学部教授 近藤 利恵

人間生活科学部講師 李 温九

学生コーナー

6

経済学部 西方 広希

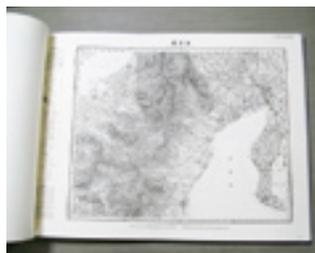
法学部 森 まどか

人間生活科学部 服部 貴之

人間生活科学部 半田 唯菜

図書館からのお知らせ

8



▲江戸時代の尾張の国



▲幕末・明治日本国勢地図



経営学部 教授
日比野 雅俊



子どものための歌は



短期大学部 教授 植田 克己

子どものための歌に、どこか愛着を持った人々がある。幼い頃覚えた曲はその後出会ったおびただしいメロディより心の底に残り、ふっと口をついて出てくる最初の歌は、小学校唱歌を始めとする学校で習った歌群である。テレビやラジオから流れるコマーシャルソングは、心の底に刷り込まれる形としてはそれより勝っているかもしれないが、自発的には思い出そうとは思わないだろう。

歌詞によって描かれる世界は生まれ出た時代と場所に密接に関わり、時の移り変わりに持っていたかもしれない普遍的なものを失ってしまい、次第に消えるものだけれど、その曲に寄せる人々の思いは、例えようもなく切なく強い。

私は『いつもいつも通る夜汽車、静かな・・・』という歌詞の「夜汽車」がすこぶる好きである。小学生の私には旅への憧れに繋がるものとして、好きになっていたかも知れず、あまり明確に理由を述べることはできない。しかし、そのメロディが聞こえてくると、単純に反応してしまい幸せになる。「こぎつね」や「わかれ」と同じように、もともとドイツ民謡を原曲として日本語の歌詞がつけられたものである。昭和22年、教育基本法、学校教育法、そして日本国憲法が公布され、従来の教育システムが大きく変わる中で、それらの理念に基づき音楽教科書が編集され発行された。唱歌教材として(1)軍国主義的なもの(2)超国家主義的なもの(3)神道に関係するものを排除する一般方針があり、従来の文部省唱歌や、わらべ歌のなかで優れていると判断できるもの、また新作の子どもの歌などの中から優れているものを、各学年ごと22曲選定をした。これは最後の文部省編の「国定教科書」である。しかし、戦意高揚の要素が強かった戦争中の教科書において採用されていたものは、その基準に照らして排除していくと残るものが少なくな

り、22曲集めることができなかった。そのため次の選択肢として、メロディを外国曲から持ってきて日本の歌詞を付けたものが増え、たとえば、高学年になればなるほどその割合が増し、6年生では68%がその種のものになった。それは高学年ほど戦時色が強かったことを意味する。

そういう経緯のため、原曲の歌詞と比較するとびっくりするほど違っているものがある。「こぎつね」は、狐に対して自分で飼っているガチョウを盗んだりしないで、せいぜいその辺の野鼠で我慢しなさいと諭す農夫の歌のようであり、私の好む「夜汽車」は、「Wenn ich ein Vöglein wär」といい、その内容は、自分がもし小鳥だったら、小鳥のように翼があったら、離れている恋人の元へ行けるけれど、本当は行けずにとどまる。夢の中では恋人はそばにいて自分と語らっている。けれども目覚めると自分が一人であることを発見する。けれども、恋人が自分に与えてくれた「心」を何度となく思うと、夜の時間は過ぎ去らず、私はまだ目覚めず夢の中にいる。・・・憧れをキーワードとすると、小学校で歌われていた歌とドイツの原曲の中には共通性はあるかもしれないが、全く異なる歌である。原曲の内容を認識した後は、私を魅了したのはメロディの中にある恋心の甘さかもしれないとも思えるけれど、「My Way」原曲の詩と、世界的なヒットしたものの中にはなんら共通性もなく、メロディが詩を必然的に表現しているとは言えそうにもない例を知っている立場からすると、別物という認識で良いのかもしれない。ただ、好んで愛着が強いものがとんでもない内容の原曲を持つときあるとすれば願ひ下げたいし、むしろ、そんなことがないことを願わざるを得ない。

夜大学の研究室を出るとき、階段の窓から走り行く小牧線の電車を見ると、一瞬私の中に「夜汽車」が走る。



国立大学法人
東北大学付属図書館
Tohoku University Library



経営学部 准教授 李 彩華

▼東北大学付属図書館 本館正門外観



東北大学には、仙台市内に点在する五つのキャンパスがあります。そのため、付属図書館はキャンパスごとに分かれています。本館と医学分館、北青葉山分館、工学分館並びに農学分館で構成されています。

私は客員研究員として川内キャンパスの文学部に在籍しており、付属図書館本館は文学部の向かい側に、地下と地上2階ずつの建物としてずしりと横たわっています。隣接の2号館は4階建ての建物です。川内キャンパスは、約400年前に伊達政宗が築いた仙台城二の丸の上あたりに位置し、1958年に設立された東北大学植物園と連なっています。植物園は、もともと仙台城の背後を防備する御裏林をそのまま守ってきたところですので、園内の動植物には、学術上貴重なものが沢山存在しているそうです。それゆえ、川内キャンパス周辺は、「杜の都」で知られる仙台市近郊のなかでも稀に見る自然豊かな地域となっています。

現在、世界各国各地域からの留学生を含めて、約17,949人の学生が東北大学で学んでいます。大学は1907年創立当初から、「研究第一主義」と「門戸開放」を開学の精神に掲げ、文系・理系問わずあらゆる分野で画

期的な研究成果を積み重ねてきました。和漢書と洋書3,815,636冊、和洋雑誌76,136種類を所蔵する付属図書館は、このような精神のもとで教職員・学生、並びに学外の研究・教育機関への支援サービスを行っています。

付属図書館の所蔵資料として、ことのほか紹介すべきなのは、東北大学が蓄積してきた膨大な学術コレクションです。安藤昌益を発掘したことで有名な狩野亨吉の蔵書・狩野文庫と夏目漱石文庫、和算関係文庫を筆頭に、貴重な文書・資料を含める主要文庫が数えて30以上もあります。中でも、狩野文庫の蔵書は、『類聚国史』と『史記』の2点の国宝を含めて108,000冊にものぼり、「江戸学の宝庫」「コレクション中の白眉」と賞賛されています。その他、チベット仏教資料や秋田家資料などの収蔵品も東北大学が誇る名品の一部です。創立百周年記念に際して刊行された『ものがたり 東北大学の至宝』という本のなかでは、付属図書館は「日本の敦煌」と喩えられているほどです。

また、日中両国で国語の教科書に取り上げられる、魯迅と恩師「藤野先生」の話も旧仙台医専(現東北大学医学部)が舞台です。私が日々通う本館に入っただけ右側には、魯迅と藤野先生のブロンズ像、先生が丁寧に添削した魯迅の聴講ノートなどが飾られています。このような宝物に満ちる創造的な「知」的環境の中で、毎日朝から夜遅くまで、大勢の学生や社会人が勉強に励んでいます。



▲付属図書館本館側面



▲魯迅と「藤野先生」のブロンズ像と聴講ノート

西野仁雄 著

『イチローの脳を科学する』

なぜ彼だけがあれほど打てるのか

(181 頁) (幻冬舎新書)



法学部 准教授
後藤 典文



この本は、その名の通り「イチローの脳を科学する」ものである。イチローとは言わずと知れた、オリックスから2001年にマリナーズへ移籍した鈴木一朗のことである。著者は、名古屋市立大学学長・理事長である西野仁雄先生だ。余談ではあるが、某日・某所で先生とお目にかかる機会に恵まれ、この本を頂戴した。

西野先生は、ご自分でも中学生から野球をはじめ大学生の時には準硬式の野球部で活躍され、その類い希なる野球知識をもってイチローの脳を科学したのである(因みに大阪の堺で生まれ育ったので、今は無き南海ホークスのファンだったとのこと)。

さて、本筋であるが、イチローの御尊父である宣之氏への取材を中心に、イチローの幼年時代のことから現在に至るまでのことが綴られている。それと、なんと言ってもそこには膨大な資料と先生の野球知識が随所に見られるのである。特に、「進化するイチローの脳」の章では、イチローが第1回WBCの苦悩、途切れた連続盗塁記録のこと、その悔しさをいかにバネにしたのか、はたまた、イチローが打席に入る際の一連の動作についての解説(…右手で持ったバットをまずピッチャーに向け…のポーズのこと)等には大変興味のわくところである。またまた余談であるが、「80歳でも新しい神経細胞がつくられる」の項では、何となく理屈抜きでうれしい気がする。

ともかく、日本の鈴木一朗が世界の「ICHIRO」になっていく課程をこの本とともに体験しようではありませんか。

スポーツをする人もしない人も一読されてはいかがでしょう。

ハインリッヒ・ハラール 著

長谷見敏 訳

『新編・白い蜘蛛』

(525 頁, 図版 [4] 頁) (山と溪谷社)



経済学部 教授
石田 隆造



この夏、北海道の山で8人の人々が凍死した。登山には体力や技術だけでなく経験に裏付けられた判断力が大切である。ここに紹介する本は、多くの人々が挑み、悲喜こもごもの物語をうんだ、アイガー(3,790メートル)北壁へのアタックの記録である。この山はスイスにあり、ヨーロッパの登山家にとってアクセスしやすい山である。今もなお多くの人々が夏にこの山の麓へやってくる。しかしその北壁は屹立した岩壁から20世紀になるまで登攀できず、多くの人々が命を落とした。スイスではこの北壁登攀を条例で禁止しようとさえした(p.59)。北壁は標高2,100メートルから始まり、1,700メートルもの岩壁である。岩壁にハーケンを打ち込みながらよじ登り、オーバーハングした岩さえ乗り越え、頂上につく。その満足感は何物にも代えがたいであろう。「白い蜘蛛」というのは、夏にアイガーの岩壁の残雪が遠くから見ると、まるで蜘蛛のようにみえるからである。著者ハラールは「氷と万年雪でできた恐ろしい手足を百メートルも延ばして壁のなかで獲物をとる《白い蜘蛛》が待っている」と述べている(p.25)。そして、1938年7月にようやくドイツとオーストリアの4人が北壁初登攀に成功した。この本の著者ハラールはそのひとりであり、北壁登攀に彼は85時間もかかった(p.141)。最近では単独で10時間ほどで登頂してしまう猛者(p.402)もいる。登頂はほとんどもないが、機会があれば、私も麓から夕陽にそまるアイガーを一度は見たいと思っている。一読をすすめたい。

読書ガイド

読書ガイドでご紹介した本は図書館にあります。ぜひ一読ください。

泉谷 閑示 著
『「私」を生きるための言葉
日本語と個人主義』
(167頁) (研究社)



経営学部 教授
近藤 利恵

「空気をよむ」という表現を耳にすることがありますね。以前の流行語に「KY (空気よめない)」というのがありました。あなたはいつも「場の空気をよむ」ことに神経を使っていますか? 「言葉で言わなくても日本人なら察するべきだ」と思ったり、質問をよくする人や自分の意見を述べる人のことを「空気のよめない人だな」と決めつけたりしていませんか? 自己主張が強いと思われなために「～と思わない?」「～みたいなの」「普通～でしょ?」という言い方を使っていますか?

この本の著者は、日本語に潜む「神経症性」を分析し、それに基づいて対話による精神療法を専門とする精神科医です。本書は「日本語と日本人」「世間」と言葉」「自他の区別」「個人主義と利己主義」「日本語で「私」を生きるために」の5章から構成されています。

内容は、「主語を立てない」日本語では「私」を自覚しにくいために「自他」の区別が希薄であること、そのため誰もが同質で均質な集団である「世間」のメンバーであると思込み、その暗黙の掟を神経症的に気にする傾向があることを指摘しています。さらに夏目漱石の『私の個人主義』を取り上げ「個人主義」の真の意味を説明し、その実践のためには、一人称の「私」が「他者」の言葉を「聴くこと (単に「聞く」ことではなく)」がいかに重要かを述べています。第5章では「一人称を生きる人」として、中田英寿、イチロー、岡本太郎、白州次郎らが取り上げられています。また村上春樹の文体についても述べています。

「空気をよむ」のは「常識」と思っている人に是非読んでもらいたい一冊です。



21世紀研究会 編
『食の世界地図』
(331頁) (文藝春秋)



人間生活科学部 講師
李 温九

「どんなものを食べているかいつてみたまえ。君がどんな人であるかを言い当ててみせよう」

17世紀のフランスの美食家として有名なブリアサバランの言葉です。個人の食生活は、その人が住んでいる地域や気候などの環境によって大きく異なると言われていいます。気候によって栽培作物も異なるので人々の食生活にも影響します。また、宗教によって異なりますが禁忌の食材があることで人々の食習慣に大きく影響するとも言われています。ブリアサバランの言葉も納得できます。

しかし、グルメ文化華やぐ日本では、現在、世界中の料理が食べられていますね。インド料理、トルコ料理、イタリア料理、モロッコ料理、中国料理、韓国料理・・・その国の歴史や言葉はわからないけど食べ物の名前だけは知っている場合もあるかと思います。いまや、日本人は「世界を食べている」と言っても過言ではないほど多様な国の料理を楽しんでいます。何でも食べてみるチャレンジ精神の強い現代の日本人の食生活にはブリアサバランもお手上げかもしれません。

私の専門は調理科学です。人間の生活の中で一番大切な営みの一つは「食生活」であり、「食べること=生きること」だと思っています。日本では生活力を指す言葉として「食べていける」「食べていけない」との表現がありますが、韓国でも一人前の大人を指す言葉として「自分の食べる分は自分が解決できる」という言葉が使われています。

「食の世界地図」は、食にまつわる世界の話です。世界を変えた新大陸の食材、料理の国籍、食べ物の起源と語源、美食家にちなんだ料理、食をめぐることわざなどが詳しく紹介されています。ちょっと変わった食の世界のガイドで世界の食の旅を楽しんでくだされば幸いです。



高田 崇史 著『QED 鬼の城伝説』を読んで

経済学部 西方 広希

歴史とは何なのでしょう？「過去の積み重ね」「勝者が作り上げるモノ」…など様々な見解があります。この作品では、私たちがよく知る「桃太郎」を題材に、歴史のミステリーと現実に起こる殺人事件とを絡め、物語が進行します。

この作品の特徴として、主人公が延々と蘊蓄をしゃべり続けることにあります。様々な文献や出来事を詰め込んで話をするテンポが楽しいです。

桃太郎のおとぎ話に込められた話。桃太郎は実在したのか？ お供である猿、犬、雉とはいったい何なのか？ 温羅伝説から読み取れるものは何か？ そもそも鬼とは何か？ それらの疑問が物語の発端になります。騙りなどを用いた伝承。そして、その伝承によって、意識づけられたもの。「なるほど！」と

感じるところが、作品の随所に散りばめられています。

一方での殺人事件。蔵の中で起こった事件。それに続く連続殺人。その事件のトリックは？ そして、犯人、動機は？ 密室トリックなどは、「わかってみれば…」ではあるのですが、きっちり論理的に描かれていますし、また、殺人事件にも先の騙り、意識づけられたものが関わってきます。

私たちが常識に思っていた、事柄の裏側には様々な人間たちの思惑が入り乱れています。歴史の中で生じた様々な事象の見解は一つではありません。その時その場所で違ったモノの見方をすれば、今まで認識していた事象が変わって見えます。歴史とは一定性のない人生観そのものを示すものです。



百瀬しのぶ 著『おくりびと』を読んで

法学部 森 まどか

私がこの作品を知ったのは、映画「おくりびと」の話を母親がしてくれたのがきっかけでした。その後私も映画を観て、更に小説化していたことを知り、本を手に取りました。

この話は、チェロリストであった主人公の小林大悟がある日突然職を失い、いままでの生活と決別する為に生まれ育った田舎へ戻ります。その時たまたま新聞広告を見て出会ったのが「納棺師」という仕事。はじめはこの死に直接触れる仕事に戸惑い悩む日々ですが、社長である佐々木の納棺師としての真摯な姿勢や、様々な境遇の死や別れと向き合ううちに、この職業への矜持が大悟の心に芽生えていきます。しかし、そんな時に妻の美香に内緒にしていたこの仕事がばれ、

言い争いの後出ていってしまいます。お互いの考えがぶつかり合うこの場面は、死とそれに関する職業の人の考え方が顕著に表われています。そんな二人に届く知人の死の知らせと、大悟の父親の死が美香の考え方を変えていきます。

納棺、遺体を棺に納める仕事、納棺師を題材としたこの本を読むうちに、自然と「人の生、そして死とはどういうことなのか」と考えました。普段はあまり考えない死という現象は誰にでも訪れます。あなたはどのように思いますか？ この作品は映画を元に書かれた作品です。映画でも本でも一度手に取ってみたいと思います。



学

生

コ

1

ナ

1

『アンパンマン大図鑑 公式キャラクター2000』を読んで

人間生活科学部 服部 貴之

「アンパンマン」を知らない人はいないと思います。

僕も幼い頃からアンパンマンが大好きで、この本を読みながら、友人や後輩と、アンパンマン話で盛り上がり、懐かしさを感じることができました。幼稚園や保育園の実習をした際にも、アンパンマングッズを使用している子どもたちは多く、アンパンマンは永遠のヒーローなのだ改めて感じました。

このアンパンマンの人気を支えている個性豊かなキャラクターたちや、様々なメカなどを1つずつ、説明つきでわかりやすく記載されているのが、この本の特徴です。また、バイキンマンやジャムおじさんなどの、違ったバージョンも載っており、子どもはもちろん、大人が読んでも大変楽しめる本です。

原作者のやなせたかしさんは、この本の中で「キャラクターの数がどんどん増え、いまで

は、作者のぼくもこの図鑑を見ないとわからないくらいです。アンパンマンは世界最多のキャラクター群に支えられています」と述べています。この言葉からあるように、今年の夏、最もキャラクターの多いアニメということでギネスにも認定されました。作者の限界をも超える世界一のキャラクター図鑑を、昔を思い出し、ぜひ読んでみてください。

この本は、僕の友人が「学生選書の会」で選び、図書館に置かれた本です。この他にも、スター・ウォーズの仕掛け絵本やドラマで放送された小説など、名経大の図書館には皆さんの興味をひく本が多く所蔵されています。図書館というかたいイメージを想像しがちですが、このような楽しい本もおいてある名経大図書館をぜひ活用してほしいと思います。



『だるまさんが』と出会って…

人間生活科学部 半田 唯菜

園で先生が子ども達に絵本を読んでいました。絵本のタイトル「だるまさんが」と読んだ瞬間、5歳児の子ども達は得意気に「だるまさんがころんだぁ」「ころんだー!」と思い思いに声を上げます。この時の先生のニヤッとした顔を私は今でも覚えています。「だるまさんが」と聞くと誰しも子供の頃の遊びを思い出して、「ころんだ」とくると思ってしまうでしょう。しかし、その絵本にはその言葉は一切出てきません。だるまさんが「どてっ」とこけたり、「ぶしゅー」と潰されたりと予想外のことが起こります。その様子に子ども達は「えっ!？」と驚きつつもその面白さに笑い、次に何がくるんだろうと期待しているようでした。これが私の「だるまさんが」という絵本との初めての出会いで

す。私はこの時その先生の読み方と絵本の内容の面白さ、又やさしいタッチの絵の可愛さに子ども同様夢中になってしまいました。その後だるまさんシリーズの「だるまさんの」と「だるまさんと」が出ている事を知り、すぐにこのシリーズが大好きになり、次を心待ちにして折、信じ難い知らせが飛び込んできました。それはこの絵本の作者であるかがくいひろしさんの訃報。54歳、ガンで亡くなられたそうです。あまりに突然でショックでしたが、先生の作品はこれからも色々な所で読まれ、子ども達の心の中に残っていくことと思います。少しづつながら私も先生の絵本の良さを色々な人に伝えられたらと思います。ご冥福お祈りします。



本を読んでいますか。図書館を利用していますか。
学生の皆さんがもっと図書館を利用できるようにイベントを企画してみました。
一つは学生選書の会、もう一つはピアノ演奏会です。

■学生選書の会 ～あなたの選んだ本を図書館に～

6月29日に栄の書店にて学生のみなさんと一緒に本を選んできました。午後2時に書店の玄関に集合し、6階にて担当さんから選書するにあたっての説明を受けました。そのあと好きなジャンルの棚へ行って選書を開始しました。

お目当ての図書が見つからないときは、OPAC検索したり、店内をあちこち歩きながら気に入った本を選びました。

自分が読みたい本、友達に読んでほしい本、おもしろそうな本、話題の本、いろいろな本が65冊選書され、図書館の蔵書に加わりました。3階カウンター前にありますので図書館に足を運んで読んでくださいね。

選書会に参加してくれた学生の声

- ・好きな本を選べて楽しかった。(H・Tさん)
- ・あまり書店に行かないのでおもしろかった。(K・Hさん)
- ・時間がたつのが早かった。(Y・Hさん)
- ・また参加したい。(Y・Tさん)
- ・早く図書館で読めるといいな。(S・Sさん)



選書の後で記念にパチリ!!

●次の選書会は、12月初旬の予定です。お楽しみに

■ピアノ演奏会

図書館1階エントランスホールにピアノ棟からグランドピアノが移設されました。

♪ 6月30日、月末休館日を利用して、ピアノ演奏会を行いました。法学部学生2名による演奏(クラシック・ヒーリング系)にしばし心を癒されました。ピアノの音がホールに響きわたり、普段の静かなイメージとはひと味違った図書館となりました。



♪ 10月25日(名経祭2日目)に、教員7名のバンド“B&Eplus”による演奏会が行われました。ベートルズナンバーなどの懐かしい曲が流れ、評判どおりのすばらしい演奏で盛況のうちに終了しました。



●次回の演奏会は、HPのインフォメーション、掲示板で案内します。 ●ピアノ演奏を希望の学生の方も募集しています。

気軽に図書館のイベントに参加してみませんか。

図書館だより Vol.58 2009.11

発行所 名古屋経済大学 図書館 〒484-0000 愛知県犬山市樋池 61-22 TEL (0568) 67-3798 (代)
名古屋経済大学短期大学部 ホームページ <http://www.nagoya-ku.ac.jp/lib/index.html>
発行 年2回
印刷所 株式会社 一誠社 TEL (052) 851-1171